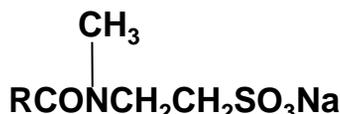


ダイヤポン® K-SFのご紹介

- 「ダイヤポンK-SF」はヤシ油脂肪酸アシルメチルタウリンナトリウムを主成分とし、皮膚と同じ弱酸性領域で優れた起泡性を有するとともに、皮膚や毛髪に対する刺激性が低いマイルドな洗浄基剤です。

1 製品の特長

★ダイヤポン®K-SF化学構造



R: ヤシ油アルキル基

INCI NAME: SODIUM METHYL COCOYL TAURATE

表示名称: ココイルメチルタウリンNa

化審法番号: 2-1658

CAS: 61791-42-2

性状: 無色～淡黄色の液体で、わずかに特異臭がある。

有効成分: 30%

塩化ナトリウム: 1.0%以下

●植物性で、生体関連物質に類似の化学構造をもつ洗浄成分

ヤシ油を原料の起源とし、胆汁中に存在するタウロコール酸と類似の化学構造をもつ洗浄成分です。

●高い安定性

加水分解安定性が高く、耐酸性、耐アルカリ性に優れるため、幅広いpHでお使いいただけます。

●高い起泡性

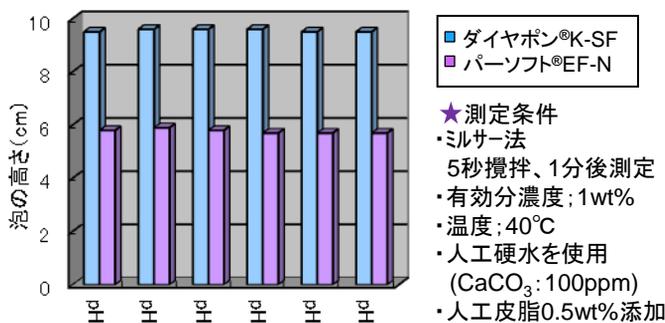
ヘアシャンプー等の原料として、最も一般的なアルキルエーテルサルフェート型陰イオン性界面活性剤に比べ、広いpH領域で高い起泡性を示します。

●低い皮膚刺激性

これまでにアシルメチルタウレート型陰イオン性界面活性剤の低刺激性に関する報告は数多なされています。「ダイヤポン®シリーズ」は、皮膚刺激性の低い、マイルドな洗浄成分です。

2 製品の機能性

起泡性のpH依存性(ミルサー法)

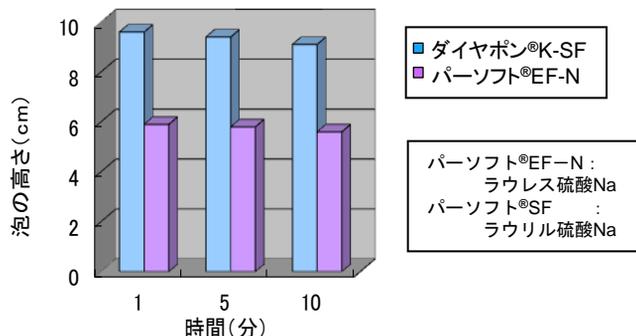


■ダイヤポン®K-SF
■パーソフト®EF-N

★測定条件
・ミルサー法
・5秒攪拌、1分後測定
・有効分濃度; 1wt%
・温度: 40°C
・人工硬水を使用 (CaCO₃: 100ppm)
・人工皮脂0.5wt%添加

▶▶▶ 弱酸性領域で優れた起泡性を発揮します。

泡の安定性(ミルサー法、1wt%、pH6、40°C)



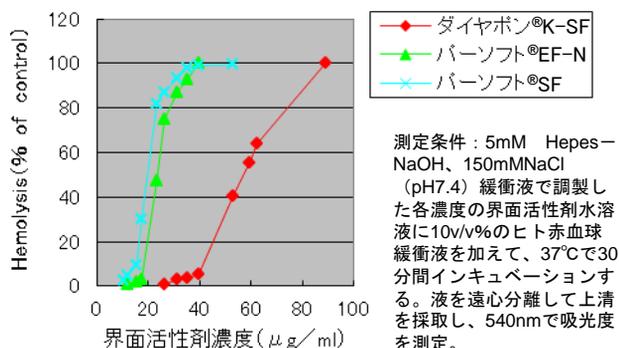
■ダイヤポン®K-SF
■パーソフト®EF-N

パーソフト®EF-N: ラウレス硫酸Na
パーソフト®SF: ラウリル硫酸Na

▶▶▶ ダイヤポン®K-SFは比較的安定性の高い泡が得られます。

3 製品の安全性

溶血性(Hemolysis)



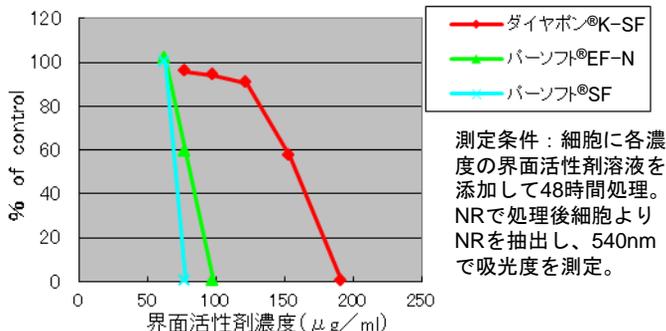
●ダイヤポン®K-SF
●パーソフト®EF-N
●パーソフト®SF

測定条件: 5mM HEPES-NaOH, 150mMNaCl (pH7.4) 緩衝液で調製した各濃度の界面活性剤水溶液に10v/v%のヒト赤血球緩衝液を加えて、37°Cで30分間インキュベーションする。液を遠心分離して上清を採取し、540nmで吸光度を測定。

▶▶▶ ダイヤポン®K-SFはパーソフト®に比べて溶血性と細胞毒性が低い界面活性剤です。

細胞毒性

(ウサギ角膜細胞を使用したニュートラルレッド(NR)バイオアッセイ法)



●ダイヤポン®K-SF
●パーソフト®EF-N
●パーソフト®SF

測定条件: 細胞に各濃度の界面活性剤溶液を添加して48時間処理。NRで処理後細胞よりNRを抽出し、540nmで吸光度を測定。